

脈々 ^{スピリッツ} 高蔵 魂

(創立者 市邨芳樹のことば)

^{きゃっかしょうこ}
「脚下照顧」

天才はもちろんのこと、秀才もまた稀にしかない。しかし、才能という才能のない大多数の人々、その多くに与えられているのが、真面目にこつこつと努力を積み上げる才能である。

凡夫たる者、その才能を活かそうではないか。真剣であれ、堅実であれ、屈するな、難に耐えよ、粘り強く進め、最後の5分間まで突っ張るだけの勇氣あれ。

一步は一步より進み、一功は一功より積み、誘惑に克ち障害を排し、社会の辛酸を賞味し、事業の難関を通過し、茲^{こゝ}に始めて成功の決勝点に到達すべし。 (「藪椿」1-8)